

日本共産党 えんど久子市議が提案 観光振興のアイデアを出し合おう



彼岸花の時期の内成棚田
えんどひさ子撮影

えんどひさ子市議は、3月9日の一般質問で、観光振興や地域活性化などについて質問しました。市民アンケートに寄せられたご意見を紹介し、様々な提言をしました。

利用しやすい交通の充実を

えんどひさ子市議は、利用しやすいバスなど交通の充実やPRを求めました。観光まちづくり課長は「バス会社など」と連携して、より利便性・快適性の向上を図れるよう取り組んでいきたい」と答弁しました。

棚田を守り活かす取り組みを

また、一貫して主張してきた棚田を活かした観光をすすめるべきと質問。

農林水産課長は、「水路や農道・東屋やトイレの整備などを行った。APUと地元の協力でホリデーハウスが完成し、21年度は21団体56名の滞在客

があった。地元の方も笑顔でお迎えしている」と答弁。観光まちづくり課長も「積極的にPRしていきたい」と答弁しました。

えんど市議は「全国棚田連絡協議会に加入し、先進地の取り組みに学ぶべき」と求めました。

ザボンを活かしたおみやげを

えんど市議は「ざぼん漬けをひとつずつ小袋のパッケージにして扱いやすくしたり、フルーツケーキや、チョコでコーティングするなどアレンジしたおみやげが出来ないか。そのコンテストをしたり、ゆるキャラでPRするなどどうか。手ごろな価格の竹細工のストラップなどもPRして

は」と提言。

課長は「関係団体等と研究・協議を重ねたい」と答弁。浜田市長は、「鳥天・冷麺・地獄蒸しに続き、ザボンをどういう形で売り出していくかを含め、食文化のPRをしっかりやっていきたい」と答えました。

別府市議会のホームページで本会議の映像や過去の議事録を見ることが出来ます。ぜひご覧下さい。

日本共産党 別府市議団

げんきニュース

発行責任者 平野文活

別府市石垣西8-2-31

TEL0977-22-6576

No.458

2011.3.9.

TEL・FAX 平野文活21-6749・野田紀子22-9253・えんど久子25-7630
http://www.ctb.ne.jp/~jcpbesig/

市民アンケートに声を寄せていただき ありがとうございました

観光・まちづくりに関する
ご意見を紹介します

PR不足。これだけの大自然（海・山）地産地消の豊かな食べ物等、他県、他国から別府を眺めると、観光よし、住んでよしの街はそんなにあるものではない。観光から定住へ。メディアやネット等で宣伝し、まずは目に止まり行ってみたいくなり、実際に来別し、スムーズに観光できる交通機関の利便性を整えてもらいたい。

もっともっと温泉をPRするのです。他にないので。観光客の方が温泉入浴中「交通費が高すぎる。入浴代はやっぱり別府です。安い」と言っていました。

別府観光と言えば温泉だけど、活かしきれていない。なにかきちんとしたコンセプトがなければ。市民も参加した観光地づくりが必要。分断していると感じる。（51才 女性 火売）

なんと言ってもおもてなしの心。私もよく旅に出ますが、その地方の人のさりげない言葉でその地方が好きになりますし、嫌にもなります。心暖かな地へまた行ってみたいと思うのです。

別府は坂のまち。交通・シャトルバス・案内・つながる観光ルートの充実。A大きなルート、Bこじんまりルート etc。（40才 女性 鶴見園町）

市外のお客様が何度でも来て下さるような魅力的な施設の拡充や日帰りで利用できる食事・入浴・マッサージ（エステ）の格安なセット、美術の展覧会や、音楽・演劇の公演など、多様にわたる趣味・興味に応えられるイベントの企画など、まずは市民が楽しめるものが必要だと思います。（49才 男性 石垣）

全体的にホテル旅館が利益主義に走りすぎ。接客の原点に立ち返ることが必要。（大観山町）

魅力化の核がない。交通アクセスがない。広場がない。マナー向上。おもてなしの心。（77才 男性）

